

LSVTBIG®

パーキンソン病のリハビリテーション

LSVT BIG®とは？

アメリカで考案された、パーキンソン病の「運動障害」に効果が期待されるリハビリテーション法です。

所定の試験に合格したリハビリスタッフのみが実施を認められており、当院では7名が認定を受けています。(平成30年4月1日現在)

LSVT BIG®適応基準

- 1 リハビリや自主トレが意欲的に行える方
- 2 声掛けによって動作の大きさを変化できる方
- 3 プログラム期間中の入院が可能な方
- 4 LSVT BIG®に同意し、理解して頂ける方
- 5 軽度～中等度のパーキンソン病に特に効果的です

ご不明な点はお気軽にお尋ねください。

問い合わせ先

公立甲賀病院 リハビリテーション課
担当:理学療法士 大谷
TEL:0748-62-0234(代)



このような症状が気になる方へ

- ・歩幅が小さくなったと言われた。
- ・姿勢が悪くなったと言われた。
- ・歩き始めや狭いところ、椅子に近づくと足がすくむようになった。
- ・椅子から立つのに苦労する。
- ・最近、ボタンを留めるのに時間がかかる。
- ・自分が書いた文字が小さくて読みにくい。

あなたの症状に合わせたプログラムです

パーキンソン病の方は無意識に体の動きが小さくなりがちです。LSVT BIG®では無意識と現実のズレを認識・修正していきます。日常生活で特にお困りの動作をプログラムに取り入れて実施させていただきますので、ご相談ください。プログラム終了後も定期的にフォローアップさせていただきます。

他の病気や怪我を抱えている方へ

事前にリハビリテーション医の診察を受けていただきます。

LSVT BIG®リハビリテーションスケジュール

STEP 0	入院1週目	STEP 1	入院2週目	STEP 2	入院3週目	STEP 3	入院4週目	STEP 4	入院5週目	最終日
到達目標										
投薬調整		自分の動きの大きさを自覚できる		他者の声掛けによって大きな動きができる		リハビリ場面で自発的に大きな動きができる		生活場面で大きな動きが身につく		最終評価
リハ医診察		自主トレーニング到達目標								
初回評価		スタッフの指示の下で行える		スタッフの少しの介入で行える		スタッフの確認で行える		一人で行える		

- ※備考
- ・投薬が安定していることが前提のリハビリテーションプログラムですので、事前に投薬調整を受けていただきます。
 - ・効果を確認するため、初回と最終にリハビリテーションプログラムとは別の時間で運動機能の評価を行います。
 - ・LSVT BIG®は週4日×4週 の集中的リハビリテーションプログラムです。午前・午後に分けて1日約2時間のリハビリ時間を目安とします。
 - ・医師の診察の結果、適応でないと判断されることもあります。ご了承ください。